

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業の概要

事業名	一般国道10号都城道路（Ⅱ期）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：宮崎県都城市高木町 至：宮崎県都城市乙房町	延長	5.7km		
事業概要	<p>都城志布志道路は、宮崎県都城市を起点とし、曾於市を経由して鹿児島県志布志市に至る延長約40kmの地域高規格道路である。</p> <p>都城道路（Ⅱ期）は、都城志布志道路の一部区間であり、都城市内の交通混雑の解消や交通安全の確保を図ることを目的とした都城市高木町から都城市乙房町に至る延長5.7kmの道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>都城市街地は市内中心部より国道や県道が放射状に広がる道路網を形成しており、市内中心部への交通が集中し慢性的な渋滞が生じている。都城道路はこの都城市街中心部を南北に縦断する国道10号のバイパス的な機能を有し、渋滞や事故等の改善に資するものである。</p> <p>また都城道路は都城IC（都城市）から重要港湾志布志港（鹿児島県志布志市）を結ぶ延長約40kmの都城志布志道路の一部区間であり、高速交通ネットワークの形成に寄与し、観光や物流の拡大に大きく寄与するものである。</p>				
全体事業費	160億円	計画交通量	25,000台/日		
事業概要図	<p>都城道路 L=13.4km 高木～乙房 L=5.7km (Ⅱ期) 乙房～五十町間 L=7.7km 2工区 L=3.0km 3工区 L=2.8km 4工区 L=1.9km</p> <p>凡例 --- 事業中 --- 新規事業箇所</p> <p>平成21年度供用目標</p>				

関係する地方公共団体等の意見
都城道路（Ⅱ期）は、九州縦貫自動車道（都城IC）と志布志港とを直結し、物流と交流の効率化に寄与するとともに、地域の継続的な発展を支えるにあたって最も基盤となる道路であることから、「都城～志布志間地域高規格道路建設促進協議会」から早期整備の要望を受けている。

事業採択の前提条件
■ 便益が費用を上回っている
■ 円滑な事業執行の環境が整っている（都市計画決定済（H11.6.10））

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.4	総費用：136億円 （事業費：117億円 維持管理費：19億円）	総便益：330億円 （走行時間短縮便益：263億円 走行費用減少便益：27億円 交通事故減少便益：40億円）	基準年：平成18年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)		
		事業費変動	B/C= (事業費 %)	B/C= (事業費 %)		
		事業期間変動	B/C= (事業期間 %)	B/C= (事業期間 %)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	主要渋滞ポイントを解消する。 【渋滞損失時間の改善】 並行区間：25.1万人時間/年 削減量：3.2万人時間/年（25.1→21.9万人時間/年） 【1kmあたり渋滞損失時間】 並行区間：4.3万人時間/km年 【その他の特徴】 主要渋滞ポイントである都北交差点の解消		
		事故対策	○	事故の減少が見込まれる。 【死傷事故率】 単路部：409.4件/億台キロ（現況） [宮崎県平均：37.5件/億台キロ（約11倍）] 交差点部：393.0件/億台キロ（現況） [宮崎県平均：70.8件/億台キロ（約6倍）]		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	○	高次医療施設へのアクセス向上 （三次医療施設県立宮崎病院への時間短縮に寄与する：都城市大岩田町～県立宮崎病院の所要時間が7分短縮、59分→52分）		
		地域経済	◎	港湾の利便性向上 （重要港湾志布志港に連結する道路である：都城IC～志布志港の所要時間が8分短縮、49分→41分） 農林水産品の流通の利便性が向上 （志布志港周辺の飼料工場からの飼料の輸送、都城地域から大隅地域の食肉処理施設への牛・豚・ブロイラーの輸送の利便性が向上する。）		
		災害	○	代替路の形成 （緊急輸送道路である一般国道10号が通行止めになった場合の代替路線として機能する道路である。）		
		環境	○	騒音の減少 （当該事業によって騒音レベルが減少し、沿道環境が改善される ：騒音の減少便益：1.01億円/年）		
地域社会		○	地域産業の促進 （都城IC、重要港湾志布志港に連結する道路であるため、沿道への企業立地を促進し、地域産業の振興に寄与する。）			
事業実施環境	○	・平成11年6月10日都市計画決定済み ・都城～志布志間地域高規格道路建設促進協議会（会長：都城市長）から積極的な要望活動が行われており、地元の期待も大きい。				

採択の理由

費用対便益は2.4と便益が上回っているとともに、都市計画手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該事業箇所の現道における交通渋滞の解消及び交通安全の確保、都城ICと志布志港が連結することにより農林水産品の流通の利便性が図れるなどから事業実施による地域社会への影響は大きいと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。